

4. 環境保全のための人・組織づくりの推進

現状と施策の方向性

4-1 環境学習の推進

【本市の現状】

本市では、自然観察や、放流体験など NPO 法人による多様な環境学習が行われており、小学生をはじめ、多くの市民が参加しています。

その一方、環境に関する意識・行動等調査によると、「市民の環境意識の高さ」については、不満と回答した割合が満足と回答した割合を上回っており、環境意識の向上を課題と考える市民が多くいます。

【施策の方向性】

環境意識の向上を図り、環境保全に取り組む人づくりを行います。

4-2 環境保全活動の推進

【本市の現状】

本市では、地域における清掃活動から、自然保護活動、3Rの推進、地球温暖化対策まで、様々な環境問題に対して環境保全活動を推進しています。また、NPO 法人等においても、地域の美化活動や景観活動に取り組んでいます。

その一方、環境に関する意識・行動等調査によると、「環境保全活動への参加のしやすさ」の満足度は、令和4年のアンケート調査で16.0%と低くなっており、環境保全活動における市民の参加を促す取組が重要です。

【施策の方向性】

環境保全に関する各団体の取組を支援し、地域の環境保全活動を活性化します。

市内の環境保全活動の紹介

○ 中津市きれまち隊サポート事業

市では、市民グループによる公共の場所（道路、公園、河川、水路その他公共の場所）におけるボランティアごみ拾い活動を支援しています。「中津市きれまち隊サポート事業」では、専用ごみ袋や万歩計の支給を行うとともに、年間の活動が優秀な団体には表彰を行い、活動内容を広報させていただいています。



自主防犯パトロール隊



中津市立豊陽中学校

○ ビーチクリーン

NPO 法人水辺に遊ぶ会が主催するビーチクリーンは、たくさんの生物が生息する海岸の干潟をきれいにするを目的に実施されています。年間に4回（大新田海岸3回、三百間海岸1回）行われており、多くの参加者が約1時間作業を行い、ごみを回収しています。



大新田海岸ビーチクリーン（令和4年12月18日）

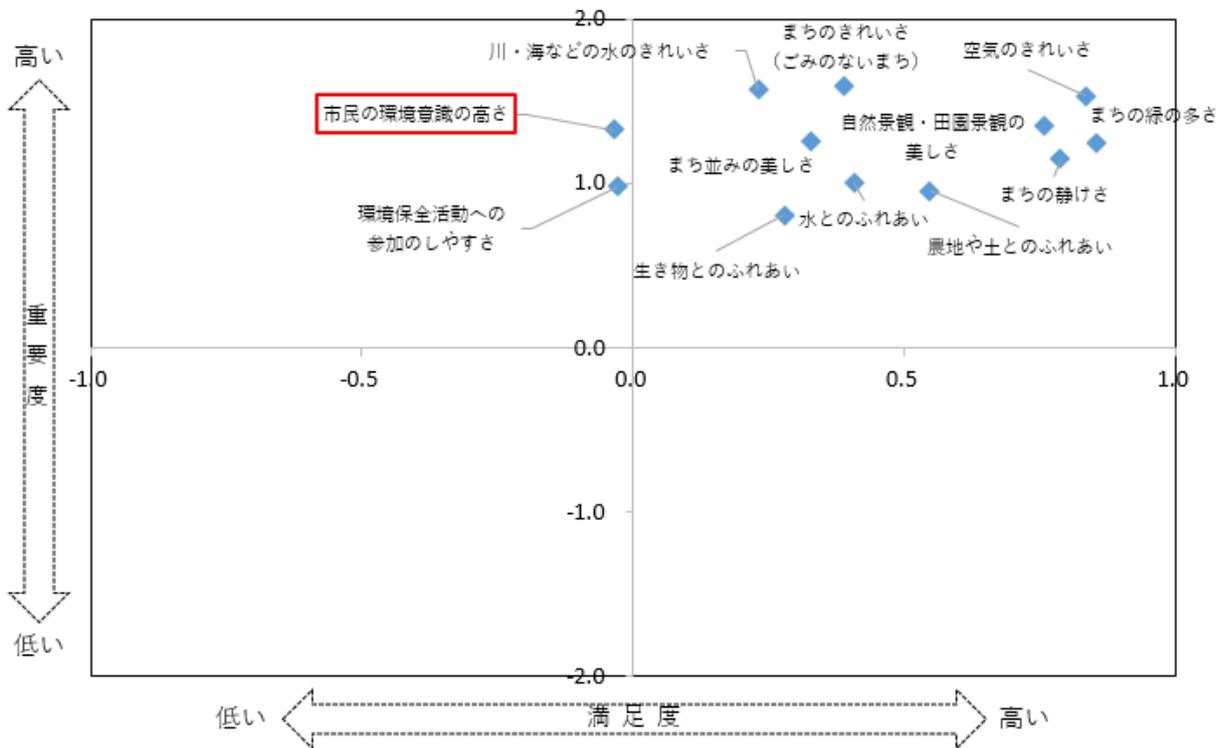
4. 環境保全のための人・組織づくりの推進

4-1 環境学習の推進

◆現状

- 市内では、山国川漁業協同組合主催のあゆなどの放流体験、中津地球温暖化対策協議会による学習会、NPO 法人水辺に遊ぶ会主催の「干潟観察会」や、野依地域で行われる「ベッコウトンボ観察会」、NPO 法人アースデイ中津主催のイベント「アースデイ中津」、中津ふれあい市民の会によるホタルの保全活動など、多様な環境学習が行われています。
- 市内には、県が委嘱した大分県環境教育アドバイザーと、環境省が登録している環境カウンセラーなどが、それぞれの専門分野を活かして、環境学習の推進に取り組んでいます。
- 一方、環境に関する意識・行動等調査によると、「市民の環境意識の高さ」については、不満と回答した割合が満足と回答した割合を上回っています。

● 中津市における環境の満足度と重要度の関係 ●



備考：各項目の満足度及び重要度の関係を把握するため、選択肢に点数を付け、選択肢の回答数と点数から各項目の加重平均を求め、散布図に示したものです。

◆課題

- 環境意識を高め、主体的に行動することができる人づくり
- 家庭、学校、地域、職場等における環境学習の推進
- 環境学習指導者の活動の活性化



◆目標

《環境保全のための人づくり》

指標	基準値 (平成 29 年)	現況値 (令和 4 年)	数値目標	指標・目標の考え方
環境教育アドバイザー 派遣数	—	41 回	60 回/年	
環境講座開催回数	—	8 回	15 回/年	市が実施する 環境講座の回数
環境標語・ポスター・ 工作コンクール参加者数	935 名	504 名	700 名	市が実施する コンクールの参加者

◆主体別取り組み

【市の取り組み】

- 環境問題に関する国際動向等を踏まえ、広い視野で環境について考えることのできる人づくりを目指し、環境教育アドバイザーの派遣事業など、市民の環境意識の向上に役立つ情報や機会の提供に努めます。
- 各教科、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通じて環境学習の推進に努めるとともに、家庭や地域と連携し、児童の各発達段階に応じた体験的な環境学習の実践や環境に対する意識の高揚に努めます。

【市民の取り組み】

- 環境に関する講習会、講演会、自然観察会、川とふれあう活動等などに、自発的・積極的に参加しましょう。
- 学校や地域での環境学習に関する理解を深め、家庭でも環境について話し合う場を持つようにしましょう。

【事業者の取り組み】

- 従業員等に対する研修制度に環境学習を取り入れましょう。
- 事業者が有する環境保全技術の紹介や人材の派遣、環境学習の場として施設の公開など、地域の環境学習の推進に協力しましょう。

4. 環境保全のための人・組織づくりの推進

4-2 環境保全活動の推進

◆現状

- 本市では、地域における清掃活動から、自然保護活動、3Rの推進、地球温暖化対策まで、様々な環境問題に対して環境保全活動を推進しています。
- 市内では、山国川漁業協同組合主催の河川清掃活動、NPO法人水辺に遊ぶ会主催のビーチクリーン活動を年間4回（大新田海岸と三百間海岸）、NPO法人アースデイ中津による啓発イベントの開催、中津商工会議所主催の市内観光ルート清掃活動、NPO法人耶馬溪の自然と景観を守る会主催の「山国川クリーンアップ大作戦」などの環境保全活動が行われています。
- みどりの少年団の活動や、水辺に遊ぶ会の活動など、子どもたちの環境保全活動や環境学習を推進しています。
- 山国川の水を水道水として利用している本市と3市5町は、毎年、耶馬溪支所管内で「耶馬の森林植樹の集い」の催事を行っています。
- 平成30年より、市民グループによるボランティアごみ拾い活動を支援する「中津市きれまち隊サポート事業」を行っており、令和5年9月末現在112団体（1,732名）が活動を行っています。
- 一方、環境に関する意識・行動等調査によると、「環境保全活動への参加のしやすさ」の満足度は、「満足」や「やや満足」と答えた人が16%と低くなっています。

● 市内で行われている環境保全活動 ●



中津市きれまち隊 活動写真



大新田海岸松葉かき
(提供元：NPO法人水辺に遊ぶ会)

◆課題

- 環境保全活動に参加しやすい組織づくり
- 環境保全団体の活動の活性化



◆目標

《環境保全活動の活性化》

指標	基準値 (平成 29 年)	現況値 (令和 4 年)	数値目標	指標・目標の考え方
清掃活動参加人数	1,265 人	635 人	2,000 人	各団体が開催する活動の参加人数の合計
「環境保全活動への参加のしやすさ」に関する満足度	16.8%	16.0%	50.0%	市民アンケートにおける「満足」+「やや満足」の合計割合
「中津市きれまち隊」登録団体数	—	105 団体	150 団体	—

◆主体別取り組み

【市の取り組み】

- 環境に対する意識の向上に努めるとともに、自主的・積極的に環境保全活動に参加する風土の醸成を図ります。
- 環境保全団体に関する情報発信や、環境保全団体との交流の場の創出を行い、環境保全団体の活動に対する関心の高揚を図ります。
- エコアクション21等の環境マネジメントシステムに関する情報提供や普及啓発など、事業者の自主的な環境保全活動を支援します。

【市民の取り組み】

- 地域の環境保全活動や環境イベント等に、自主的・積極的に参加しましょう。
- 環境保全団体は、他の団体との連携を促進し、活動の活性化に努めましょう。

【事業者の取り組み】

- 地域の環境保全活動や環境イベント等に、自主的・積極的に参加しましょう。
- ボランティア休暇制度など、従業員の環境保全活動参加を支援する体制を整備しましょう。